

令和2年度事業報告

(1) 事業の総括

令和2年度は、活動方針を「地域住民が主体となって地域課題に取り組む社会教育～地域の特色を生かしたプラットフォームの構築を目指して～」として事業に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の多くが延期や中止、あるいは変更を余儀なくされることとなった。7月の総会・研修会、そして12月の県社会教育委員研究大会、5月と2月の理事会は書面での開催となった。

こうした状況の中、8月21日の西諸県地区、10月27日の宮崎地区、11月26日の北部地区と、各地区において視察研修や研修会が開催されたことは、社会教育委員等の資質向上を図る上で、大変貴重な機会となった。また、書面開催とした県社会教育委員研究大会において、宮崎大学の高橋准教授の御協力をいただき、資料配布による研修、全国社会教育研究大会新潟大会及び九州ブロック社会教育研究大会沖縄大会のオンデマンド配信は、オンラインの活用等、コロナ禍における本会の活動を見直す上で、大変参考になる事例となった。

その他、「社教情報」の購読の推進については、会報で案内を掲載するなど、各市町村や関係団体へ購読を勧め、昨年度に引き続き、各号とも注文数が200冊を超え、社会教育委員等の資質向上に役立てることができた。

一方、ここ数年「家庭の日」の推進を実践事項に掲げており、各地域で意識の啓発や取組が進められているが、まだ十分浸透するまでには至っていない。

今年度は、「人づくり、つながりづくり、地域づくり」において、社会教育の果たす役割が重要となっている中、新たに、コロナ禍における社会教育の在り方が問われこととなった。新型コロナウイルスの終息が不透明な中、今後も社会教育の歩みを止めることなく、本会の事業の充実・推進を図っていくことが肝要である。

(2) 事業報告

① 理事会および総会・研修会

【第1回理事会】

○ 期 日 令和2年5月29日（金） 書面開催

【総会及び研修会】

○ 期 日 令和2年7月31日（金） 書面開催

【第2回理事会】

○ 期 日 令和3年2月中旬 書面開催

② 宮崎県社会教育委員研究大会

- 期 日 令和2年12月10日（木） 書面開催
研修資料提供 宮崎大学 産学・地域連携センター 准教授 高橋 利行 氏

③ 会計監査

- 期 日 令和3年3月18日（木） 午後1時30分から午後2時30分
- 会 場 県庁3号館 共用会議室

④ 第50回九州ブロック社会教育研究大会沖縄大会

- 期 日 令和2年11月20日（金） 短縮開催、オンデマンド配信
- 研究テーマ 地域への愛着を深め、新たな地域づくりをめざす社会教育
～ ジンブナーは地域をつくり 地域がジンブナーをつくる ～
- 参加者数 ネット視聴申込 13件

⑤ 第62回全国社会教育研究大会新潟大会

- 期 日 令和2年11月12日（木） 短縮開催、オンデマンド配信
- 研究主題 新しい社会教育をデザインする
～ つなぎ はぐくみ 響きあう 生涯学習社会の実現 ～

⑥ 「家庭の日」の推進

- 会報による啓発
- 各地区での取組

⑦ 地区別研修

- 各地区の計画により実施

⑧ 広報、情報提供等

- 会報の発行による情報提供
 - ・28号（12月） ・29号（3月）
- 「社教情報（全社教連発行）」購読推進
 - ・83号（206冊） ・84号（214冊）
- 「社教連会報（全社教連発行）」の配布
 - ・87号（10月） ・88号（2月）

令和2年度地区別研修会事業報告

地区名 [宮崎地区]

	第1回研修会	第2回研修会
実施月日	令和2年7月8日(水)	令和2年10月27日(火)
実施場所	綾町公民館 大会議室	綾町公民館 大会議室
出席者数	25名	28名
テーマ	地域住民が主体となって地域課題解決に取り組む社会教育 ～地域の特色を生かしたプラットフォームの構築を目指して～	
内容	<p>1 講話 「綾町が好きだという子どもを育てよう～学校支援ボランティアの取組を通して～」 講師 宮崎県社会教育委員連絡協議会 会長 綾町社会教育指導員 井崎 高信 氏</p> <p>2 質疑</p> <p>3 意見交換</p>	<p>1 講話 「町づくりと社会教育」 講師 元宮崎県社会教育委員連絡協議会 会長 森山 喜代香 氏</p> <p>2 質疑</p> <p>3 ワークショップ ① 森山氏の講話を受け、各市町の社会教育振興上の課題を付箋に書き出す。 ② グループで、付箋を貼りながら、課題を共有する。 ③ 各自、課題解決のために、社会教育委員として何ができるかを考え、付箋に書く。 ④ グループで、付箋を貼りながら、解決策について共有する。 ⑤ グループでの協議内容を、全体で発表し、共有する。</p>

地区名 [南那珂地区]

	令和2年7月10日(金)	令和3年1月15日(金)
実施月日	令和2年7月10日(金)	令和3年1月15日(金)
実施場所	南郷ハートフルセンター	南郷ハートフルセンター
出席者数	26名予定	30名予定
テーマ	地域住民が主体となって地域課題解決に取り組む社会教育 ～地域の特色を生かしたプラットフォームの構築を目指して～	
内容	<p>○ 総会 [書面開催] ・ 令和元年度事業・決算報告 ・ 令和2年度役員・事業・予算</p> <p>○ 第1回研修会(事例発表) [中止] 事例発表 「本郷地区版 地域学校協働活動の取組」 発表者 本郷まちづくり推進委員会 会長 甲斐 慎二 氏</p>	<p>○ 第2回研修会(事例発表) [中止] 事例発表① 「串間市青年団協議会の取組について」 発表者 串間市青年団協議会 会長 水元 健介 氏 事務局 長 吉國 汰一 氏</p> <p>事例発表② 「本郷地区版 地域学校協働活動の取組」 発表者 本郷まちづくり推進委員会 会長 甲斐 慎二 氏</p>

※南那珂地区においては、予定していた研修会が自然災害及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となったため、会報「みなみなか」の発行をもって研修に社会教育委員の研修とした。

地区名 [西都・児湯地区]

実施月日	令和3年2月下旬
実施場所	西都市
出席者数	約40名予定
テーマ	主題 「地域住民が主体となって地域課題解決に取り組む社会教育」 副題 「地域の特色を生かしたプラットフォームの構築を目指して」
内容	研修会 【講演】 〈演題〉 未定 〈講師〉 未定 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、研修会を中止とした。 なお、社会教育情報誌の配付をもって社会教育委員の研修とした。

地区名 [北諸県地区]

実施月日	令和2年9月30日(水)
実施場所	都城市 ウェルネス交流プラザ
出席者数	140名予定
テーマ	地域住民が主体となる社会教育、学びと活動が循環する魅力ある地域づくりをめざして
内容	研修会 [中止] 【実践発表】 都城市 【講演】 〈演題〉 未定 〈講師〉 未定 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、研修会を中止とした。

地区名 [西諸県地区]

実施月日	令和2年8月21日(金)
実施場所	小林市内史跡及び市指定文化財
出席者数	16名
テーマ	意外と知らないわれらの文化財 ～先人の教えに学ぶ～
内容	1 講師 小林市社会教育課 文化財グループ 井上 誠二 氏 2 視察場所及び視察内容 (1) 東二原地下式横穴墓群 地元の協力を得て、発掘当時の状況をそのまま保存し、後世に伝えるため遺跡公園として整備した史跡を見学する。 (2) 新田場、仲間の田の神 田の神は、五穀豊穡を祈って造られた石像で、鹿児島県から宮崎県諸県地方に分布する南九州独特のものである。 (3) 霧島岑神社 10世紀中頃、霧島山の周囲に性空上人が整備した霧島六社権現の一つ。噴火による焼失を経て現在に至る歴史にもふれる。

事業内容	会報「にしもろ」の発行
時 期	令和3年2月下旬
配付対象	西諸県地区社会教育委員連絡協議会、西諸県地区市町教育委員会、 小林市社会教育委員、えびの市社会教育委員、高原町社会教育委員、 宮崎県社会教育委員連絡協議会、各教育事務所、北諸県地区市町教育委員会
内 容	○ 令和2年度事業及び研修会の報告 ○ 令和2年度各市町事業報告 ○ 会員寄稿 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、8月の研修視察以外の研修会 を中止としたため、会報の配付をもって社会教育委員の研修とした。

地区名 [北部地区]

	第1回研修会	第2回研修会
実施月日	令和2年7月10日(金)	令和2年11月26日(木)
実施場所	日向大王谷コミュニティセンター	高千穂町自然休養村管理センター
出席者数	54名	43名
テ ー マ	地域住民が主体となって取り組む社会教育 ～地域の特色を生かしたプラットフォームの構築を目指して～	
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会 ・ 講話 演題 「子どもの主体性と発想が 地域を変える」 講師 社会福祉法人 日向市社会福祉協議会 地域福祉課長 成合 進也 氏 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例発表 「伝統文化で育つもの」 延岡市社会教育委員 國友 基子 氏 「地域が地域を愛する活動」 美郷町地域婦人連絡協議会の活動 美郷町社会教育委員 川口 さかえ 氏 ・ 講話 演題 「ふるさとの神話を語ろう」 講師 高千穂神社 宮司 後藤 俊彦 氏